

2月 15日号

“なつかしい竹馬大会”

1月25日 勧興小学校グラウンドで



主婦の交通安全アンケート結果

「少しだら大丈夫と安易な考えが…59%

足らない運転者の自覚

主婦が事故防止の主役に

△ 前号に引き続き、主婦の交通安全に対する意識アンケートの結果を掲載します。△
△ なかなか減らない交通事故を防止するために、家庭生活の中心であるお母さん方に△
△ て、その主役となつて欲しいとの期待があり、この結果は、今後の交通安全対策に△
△ 十分生かしていくことになります。△

問	他人の子どもが路上で遊んでいるのを見たとき、あなたは、安全な場所で遊ぶよう注意しますか。	車を運転して帰えると言つた時どうしますか。
問	必ず声をかけ、安全な場所へ移るを見届ける=二二%、声だけはかけて通る=六八%、気にはなるが声までかけない=九%、その子の親に注意する=一%。	五九% 警察の指導、取締りが手かるい=六%、酒飲みに寛大な風潮がある=五%、職場での規律、制裁が厳しくない=四%。
問	飲酒運転が無くならない理由として運転者の自覚が欠けているからですが、その他の理由は。	タクシーを呼ぶか、家族の者ちらも簡単に考へていてるから
問	飲食店などのほか、一般家庭でも車を運転することがわかつていて酒を飲ますから=二七%、少しぐらい大丈夫とど	に送らせる=四四%、酔いがさめるまで休ませてから車で帰す=三七%、気をつけろ=三七%、
問	車で危いからと断つて出さない=三七%、車を運転して帰らない事を条件にして出す=二四%、絶対に出さない=二三%、酔わない程度にと心がけながら出す=一五%、必ず出す=一%。	さめるまで休ませてから車で帰す=三七%、気をつけろ=三七%、
問	一方通行・車両通行禁止など	よう注意して、そのまま車で帰す=一%、絶対に酒を出さないから関係ない=一七%、
問	車を運転して帰出掛けたことや、帰宅したことがありますか。	帰す=三七%、
問	あなたの夫や家族の方が酒を飲んでから車を運転して出掛けたことや、帰宅したことがありますか。	車を運転して帰えると言つた時どうしますか。

◎公職の候補者などの氏名または氏名を類推されるよつな事項を表示する文書図画が次のとおり規制されます。

1 公職の候補者等または後援団体が政治活動に使用する立札および看板類は、次の総数の範囲において事務所ごとに2枚以内、その場所において掲示する以外は掲示できない。

○県知事選挙の場合 10枚

○県議会議員・市長・市議会議員の場合は 6枚

(大きさ一五〇×四〇センチ以内のもので選挙管理委員会の表示がしてあるものに限る)

問一答 その(3)
2ポスターについては、ベニヤ板、プラスチック板などで裏打ちしたものは掲示できない。
3政治活動のためにする演説会、講演会、研修会、その他これらに類する集会の立
問1 ガラス板を四角に中に電灯を灯し、表面までには二面に記載るのは、後援団体などの所の立札・看板の類と使用できるか。
答 立札・看板の類と認めて使用できる。
場において当該演説会催中使用されるもの以 用できない。
「春の全国火災予防運動」などを重点的に実施します。また、期間中は特に就の火の元点検を励行し、習慣づけていただくた 市消防署でも、この運動の一環として、高層ビルの防火を吹鳴します。
春の火災予防運動2/29~3/13 サイレンを吹鳴します

みなさんのご家庭におくりります。ぱりしております「市報さ 新聞折込み方式では、佐賀をおとりになつてない」がの配布の方法が新年度 新聞・西日本新聞・読売新聞 庭は、はがきに住所(略) (四月)から全面的に変わ 朝日新聞・毎日新聞の五社まで)・世帯主氏名・年齢 ります。

今まで連 「市報」は折込み方式で配布

今まで連 絡員さんにお願いして各家庭に

おこぼりしていましました。つの朝刊に折込んで配布されま

まり、町内会の組織を通じて、みんなの家庭に入つて、毎月一日と十

いたわけですが、新年度から五日の新聞に「市報さが」が

らは新聞折込み方式に変わ折込まれます。

新聞を取つてないご家庭はハガキで

事故防止上必要なら、不便覚悟で賛成する=六三%、子ども

もの通園、通学路の安全対策

上なら、不便覚悟で賛成する

=一六%、自分の家について

特別の配慮をしてくれるなら

賛成する=七%、不便をしの

るまで賛成できない=四%

問 交通安全上、主婦あるいは母親の果たす役割が重要視

されていますが、これについ

てあなたはどう思いますか。

家族の安全を守るのは母親の責任だから大いに自覚し、努力したい=三五%、母親は家庭生活の中心だから、自分の家庭については十分注意する

=三九%、交通安全は社会全体の課題だから、その一員として、こく一般的な関心は持

てありますか。

されるのは迷惑二%。

問 あなたは、交通安全問題について警察や国、県などに対して、どんな希望をおもちですか。

違反者に対する取締りを強化する=一九%、交規制(車両通行禁止、一方通行、速度制限など)を強化する=二二%、安全施設や交通規制が充実すれば事故は減少すると思うので、母親の努力が特に効果があるとは思わない=三%、主婦や、母親だからといって特別の努力を期待

道路交通・ガードレール・歩道橋などを完備する=三〇%。

交通安全に関する知識を徹底させる=三三%。

